人工股関節全置換術（両側）を受けられる患者様へ(側方アプローチ)

大植会　葛城病院　　2025年5月
（患者様用）

手術・検査内容：両側人工股関節置換術　　入院期間：23日間

経過	入院	手術当日	術後1日目	術後2～6日目	術後7日目	術後8～13日目	術後14日目	術後15日目	術後21日目（退院）
達成目標	治療について理解が出来る	手術・麻酔の目的を理解し同意することができる/手術後の状態が安定する	痛みがコントロールできる 傷の状態が良好である	痛みがコントロールできる 傷の状態が良好である	痛みがコントロールできる 傷の状態が良好である	痛みがコントロールできる 傷の状態が良好である	痛みがコントロールできる 傷の状態が良好である	痛みがコントロールできる 傷の状態が良好である 杖歩行ができる	痛みがコントロールできる 傷の状態が良好である 杖歩行ができる
治療・処置	術前オリエンテーション 術側にマーキングします	手術着に着替えます		血栓予防のため専用の弾性ストッキングを入院中は履いていただきます			基本術後14日目で抜糸	15日目でガーゼをとります	
検査		一般撮影	採血		一般撮影 採血				
安静度	制限はありません	ベッド上安静中は血栓予防のため足関節の運動を実施して下さい	痛みの範囲内で動けます						
リハビリテーション	リハビリ術前検査があります		疼痛に合わせて離床訓練を行います（車椅子or歩行器） 可動域訓練を開始します	可動域訓練を実施します 歩行器歩行・杖歩行等状態にあった移動訓練を実施します		リハビリ病棟へ転棟し退院に向けて訓練を行います ※病状により日にちは変更となります		退院前に退院前検査が あります 自主訓練等、自宅で行えるリハビリを伝えます	
リハビリテーション計画	リハビリテーション処方時はリハビリテーション総合実施計画書に準じて施行します								
食事	夕食まで食事ができます	手術前は絶食です 手術後は麻酔科の指示が出てから飲食（軽食）が可能です ※ 看護師が説明します	食事が出来ます　※指示された食事を提供します　※持ち込み食の摂取は医師の許可が必要です						
特別な栄養管理の必要性	有　・　無　（どちらかに〇）					栄養計画：医師の指示により、病状・状態にあった食事を提供します			
清潔	特に制限はありません		体を拭きます	シャワー浴介助開始					
排泄		手術中に尿を取る管を入れます	トイレでの排泄を行います						
看護計画	目標が達成できるよう援助します								
薬	現在服用中のお薬を全て確認させていただきます 主治医より事前に中止するお薬があれば指示があります								薬剤師が薬の説明を行います
薬剤計画	薬の用法・用量・禁忌・相互作用などを確認し効果的な薬物治療が受けられるようにします								
家族説明	家族様は手術の1時間前に来院して下さい								
在宅復帰支援計画	退院後の希望と生活で心配なこと（介護・経済面）を伺います			介護保険や利用できるサービスを説明し、必要時に退院先・サービスの手配を一緒に進めます/退院前に計画を最終確認します			必要時に、退院後の支援（ケアマネジャーなど）に情報を渡し、スムーズな生活開始をサポートします		
総合的な機能評価									

日常生活で使える股関節になるには、体力・筋力・可動域の回復に2～3週の時間がかかります。退院後の生活を充実したものにするために十分なリハビリが必要となります

注1）　病状の変化、検査結果、または病院の空床状況によっては転室、転棟をお願いすることがあります。その節はご協力をお願いします。
注2）　病名などは現時点で考えられるもので、今後検査を進めていくに従って変わることもあります。
注3）　入院期間については現時点で予想されるもので病状により変わります。
注4）入院が長期化する場合には、充分な治療とケアを確保するために、転院をお願いする場合があります。